



—主な内容—

- ・みどりが丘に保育園を新設……………2
- ・秋の全国交通安全運動を実施……………3
- ・産業文化祭「産業の部」を開催……………5
- ・まちのニュース……………10～12

※☎=問合せ先 ☑=申込み先

●発行/大網白里町 ●編集/秘書広報課 ●毎月1日発行 〒299-3292 千葉県山武郡大網白里町大網115番地の2 総合案内電話 ☎0475(70)0300 (総務課)

あの日を忘れないために

9月1日は「防災の日」

東日本大震災の発生から、9月11日で半年。被災地では、少しずつ復興に向けて動き出していますが、いまだに津波や地震の深い跡が残ります。今回の震災では、本町に大きな被害はありませんでしたが、「災害は忘れたころにやってくる」を、身をもって体験した方も多かったはず。「自分の身は自分で守る」を基本に、災害に落ち着いて対処できるよう、準備をしましょう。

東日本大震災では広範囲にわたって、津波による甚大な被害を受けました。また、7月末には新潟・福島両県で記録的豪雨による、河川の氾濫や土砂崩れ等が発生しました。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。災害から身を守るには、

地震が起きたときは、「自分の身は自分で守る」が基本です。地震時の冷静で素早い行動が、身の安全と被害の拡大防止につながります。

地震が起きたときは

「地震の心得10か条」を守り、落ち着いて行動しましょう。

地震の心得10か条

- ①まず身の安全
- ②すばやく火の始末
- ③窓や戸を開けて出口を確保
- ④火が出たらすぐ消火
- ⑤あわてて外に飛び出さない
- ⑥狭い路地やブロック塀には近づかない
- ⑦山崩れ・がけ崩れ・津波に注意
- ⑧避難は徒歩で
- ⑨協力し合って応急救護
- ⑩正しい情報を聞く

津波ハザードマップを見直し

町では、津波ハザードマップ

白里地区で津波避難訓練を実施

地震後の津波発生を想定し、白里全地区で津波避難訓練を実施します。いざというときに備えて、多くの方の参加をお願いします。

- ▶日時=10月2日(日)8時～ ※雨天中止
- ▶地区ごとの避難所
 - ・白里小学校=南今泉、北今泉、四天木
 - ・白里中学校=細草、下ヶ傍示、清水
- ▶その他=訓練当日、防災行政無線でサイレンを鳴らしますので災害と間違わないようご注意ください

訓練内容

※訓練当日、変更する可能性があります

訓練内容	対象
①情報伝達訓練	白里地区住民、町消防団、町職員
②避難所開設訓練	町職員
③避難訓練	白里地区住民、町消防団
④避難所訓練	白里地区住民、町職員
⑤非常警戒訓練	町消防団、南消防署

動を行う組織です。

大震災が発生すると、防災関係機関の消火・救出・救護活動が、分散・阻害され、十分な機能を果たせなくなる

ことがあります。このようなときは、住民の皆さんの自主的な防災活動が必要不可欠です。

地域の安全や防災に多くの関心を持ち、普段からみんなで話し合いをし、自主防災組織づくりを進めましょう。

家族防災会議を開きましょう

家族防災会議を開きましょう

災害時、家族の一人一人がどのように行動すべきか、話し合ったことがありますか。東日本大震災では多くの帰宅困難者が発生し、また、通信手段がない状態が続きました。

自主防災組織は、家族・隣近所がお互いに協力し合い、地域住民が連携して、防災活

自主防災組織づくりの推進を

自主防災組織は、家族・隣近所がお互いに協力し合い、地域住民が連携して、防災活

宮間あやさんに本町初の町民栄誉賞



▲金坂町長から盾を受け取る宮間さん

FIFA女子ワールドカップドイツ大会での活躍をたたえ、サッカー女子日本代表の宮間あやさんに、本町で初めて町民栄誉賞が贈呈されました。 ※贈呈式の様子は12面に掲載

人命救助の最前線 南消防署が実践訓練

南消防署が8月16日・17日に町運動広場で、大事故を想定した実践訓練を行いました。

訓練には、南消防署の消防士・救急救命士が参加。白里海岸でのボート転覆事故・ワゴン車の交通事故を想定し、多数の傷病者に対して、救急隊が搬送の優先度を定めるトリアージを実施した後、搬送場所の振り分けや搬送までを迅速・的確に行いました。

訓練後には、参加者で反省会を



行い、情報伝達の仕方やトリアージの記入法などを再確認しました。

南消防署の鈴木達夫署長は「毎年、個々のレベルアップのため、行っている。徐々に難易度を上げるなどして、実際に大事故や災害が起きても混乱せず対処できるようにしたい」と話しました。